

図5 A 大学口腔外科得点の分布

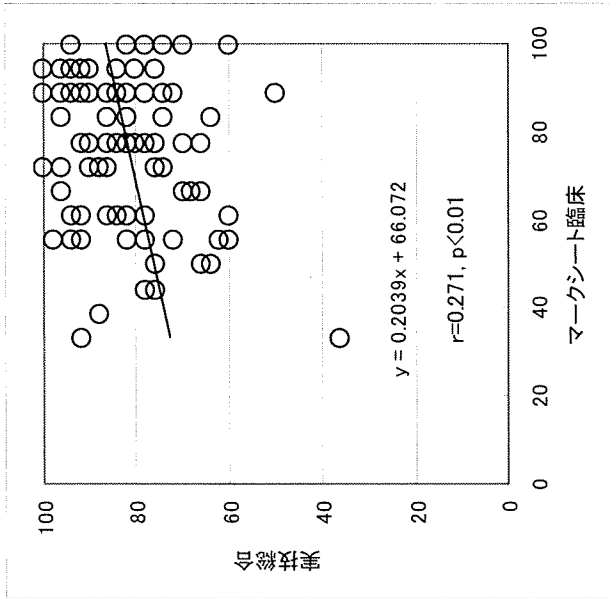
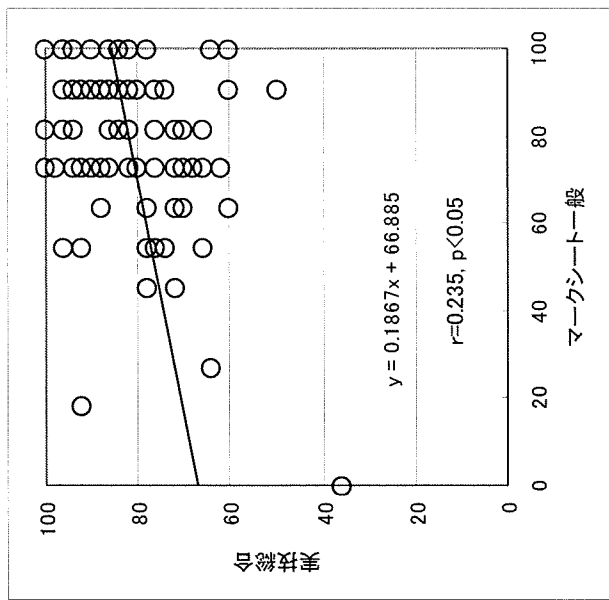
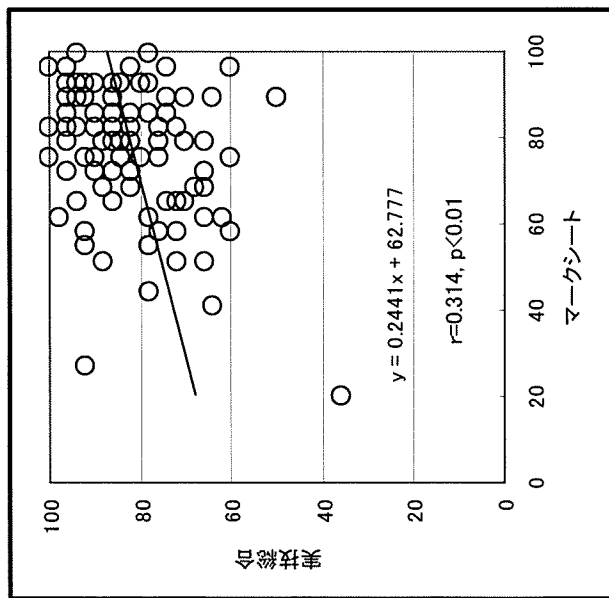


図6 A 大学客観式多肢選択試験と実習成績との相関 (口腔外科)

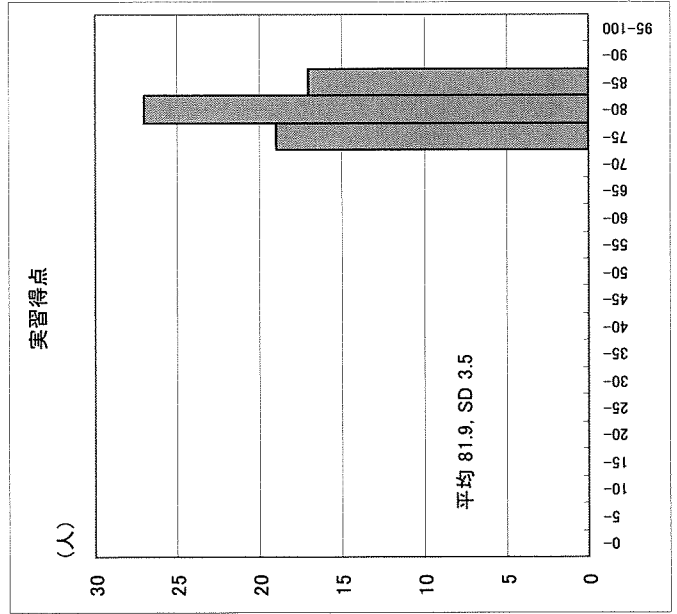
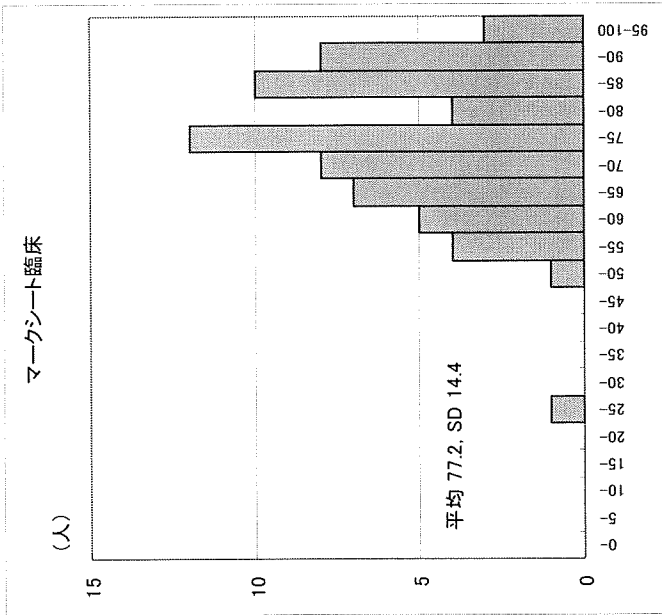
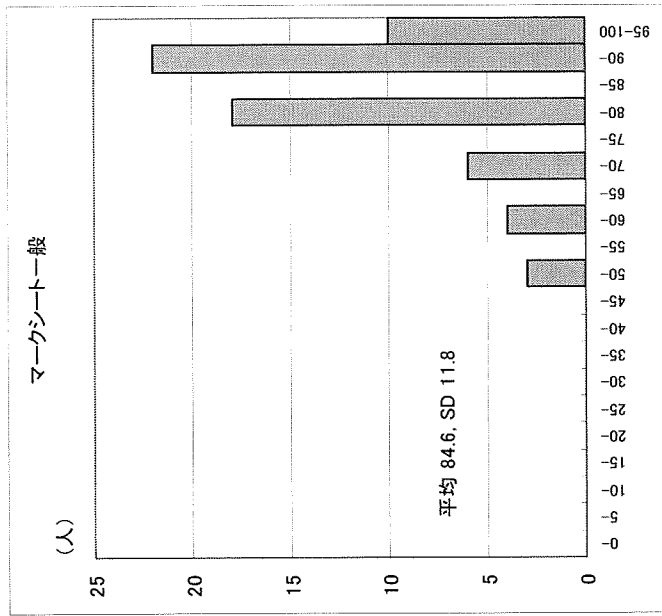
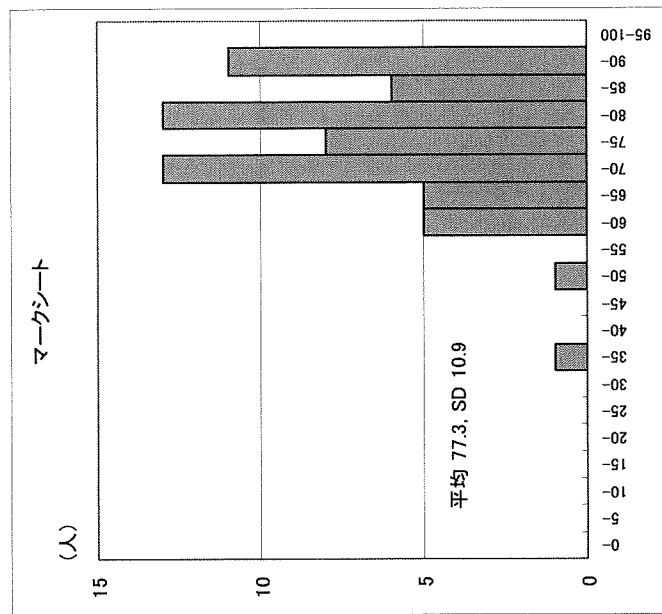


図7 B 大学口腔外科得点の分布

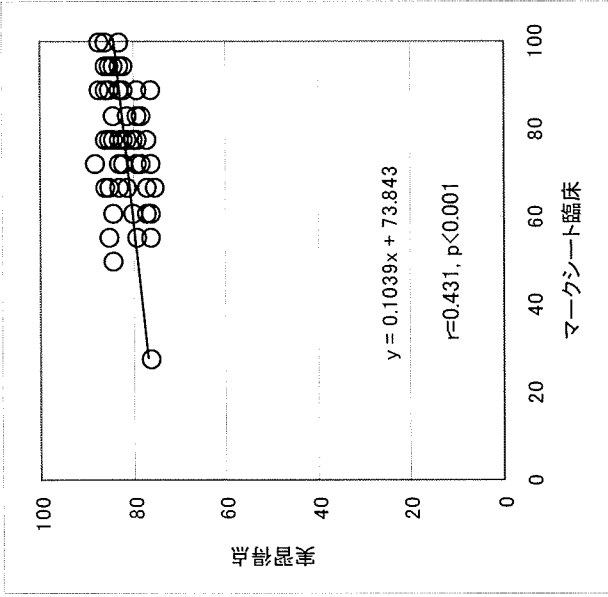
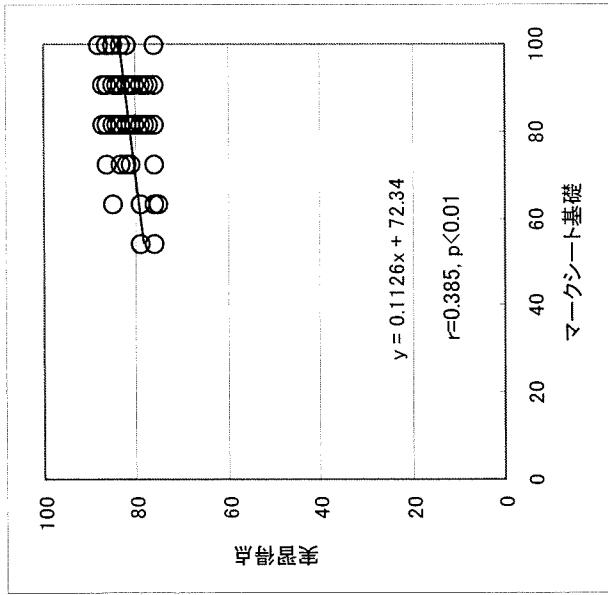
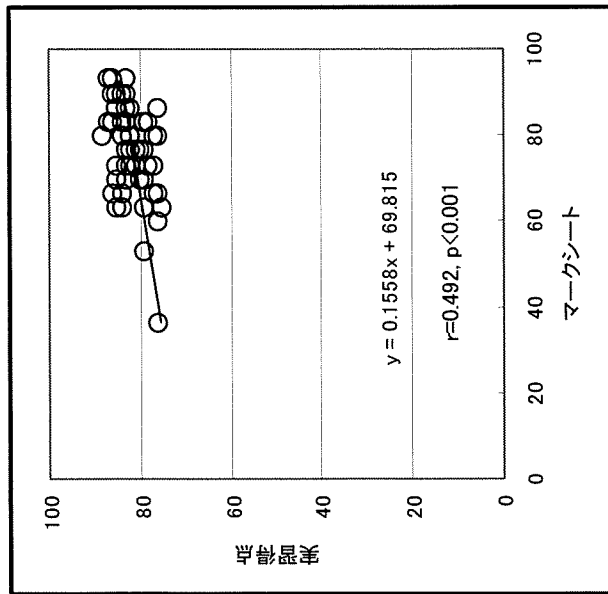


図8 B 大学客観式多肢選択試験と実習成績との相関（口腔外科）

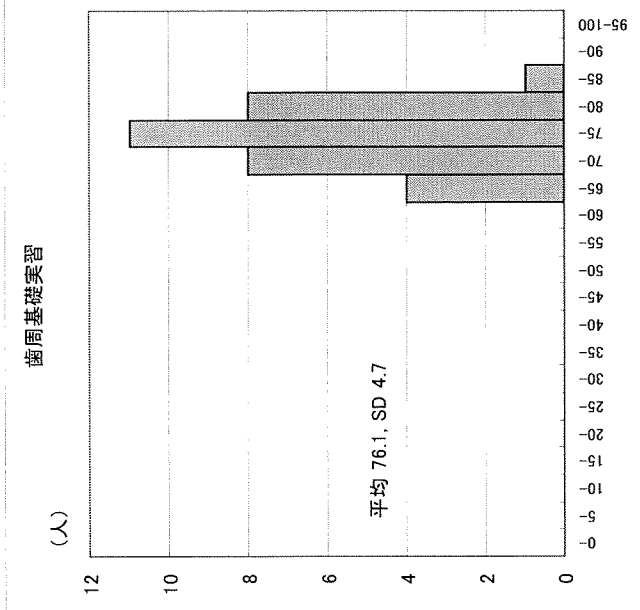
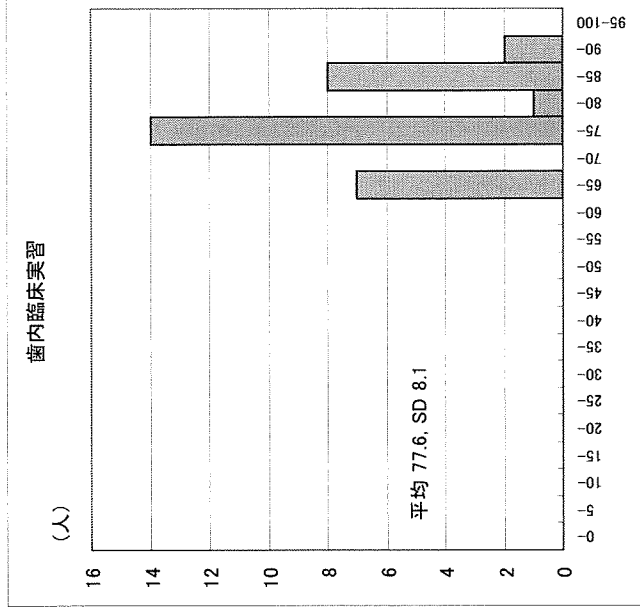
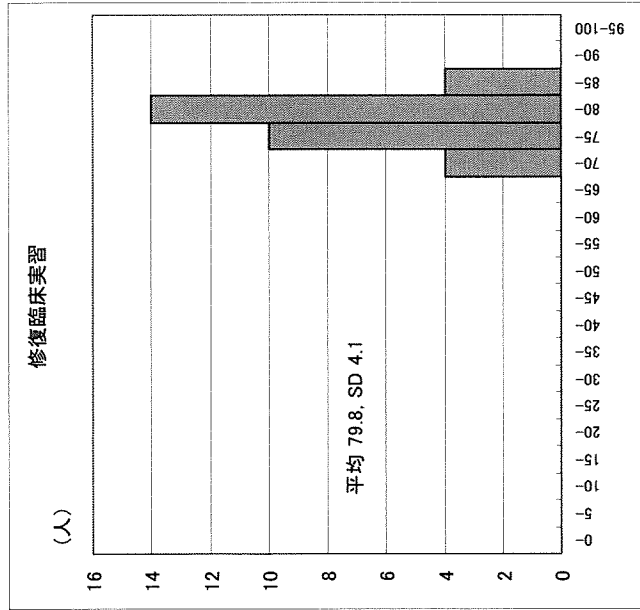
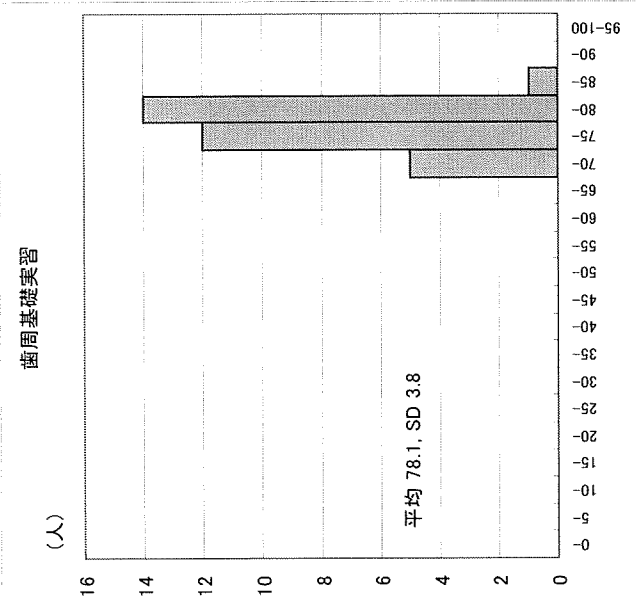
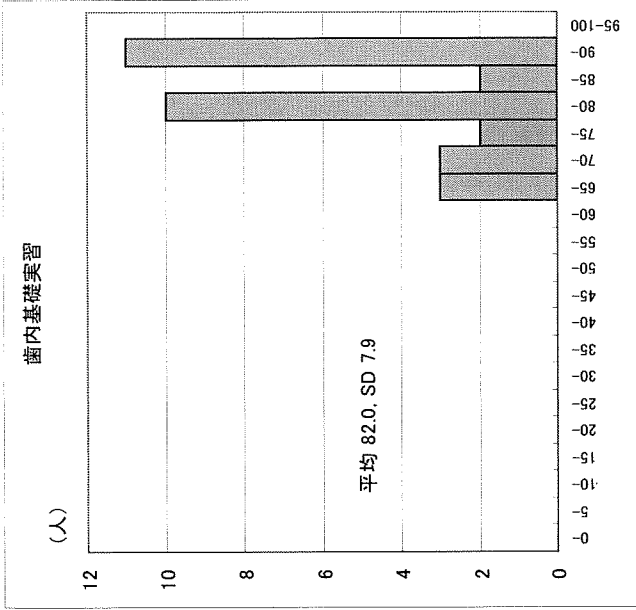
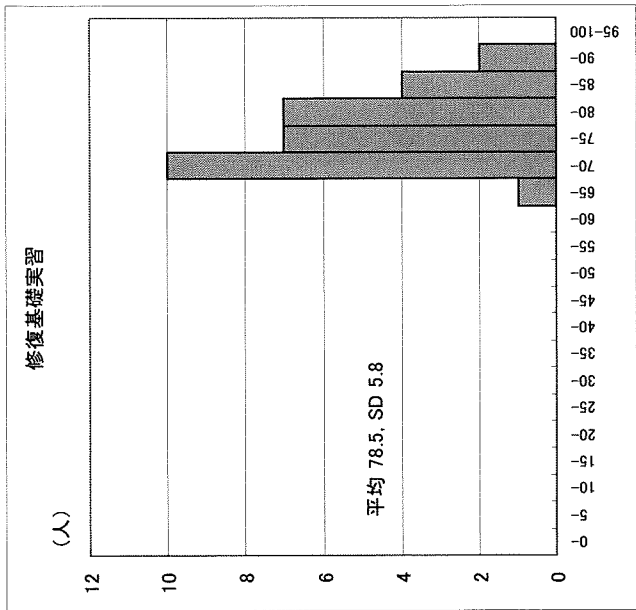


図9 C 大学得点の分布

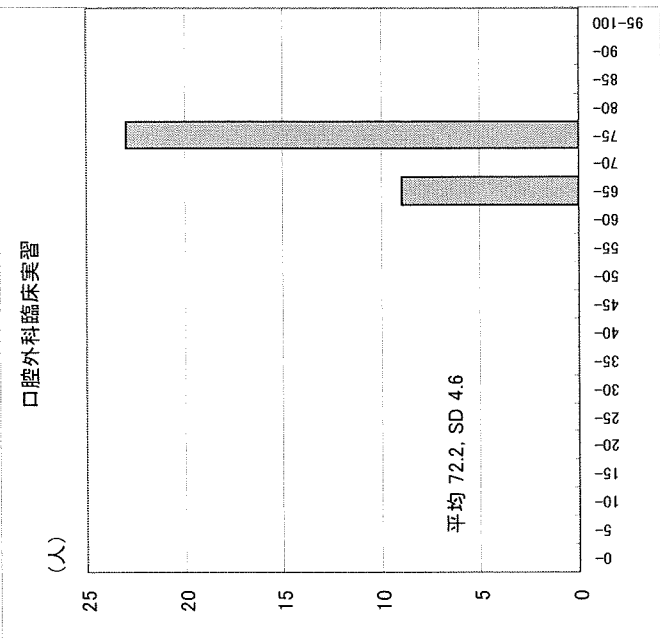
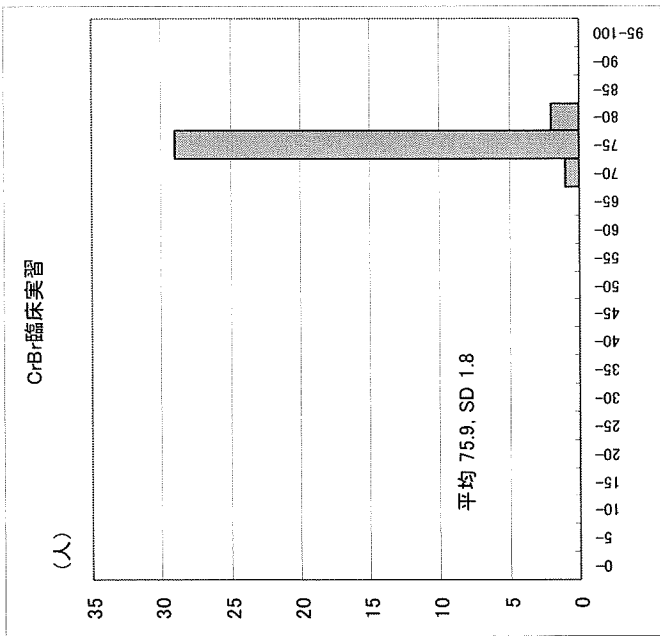
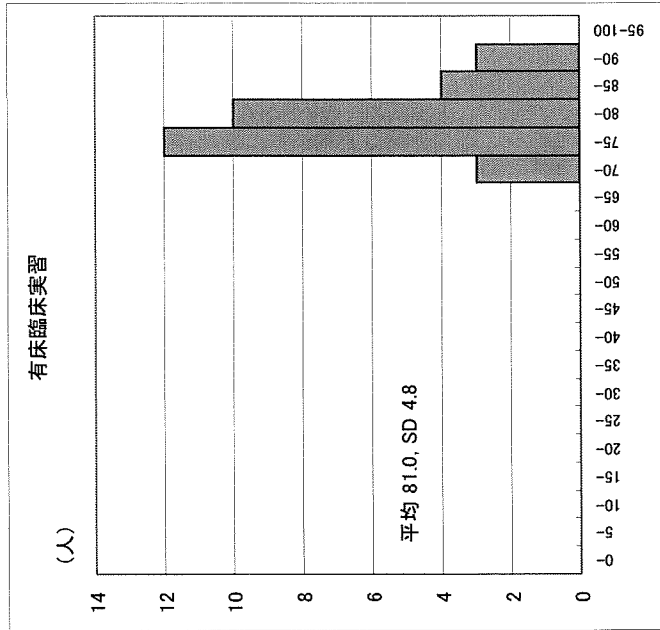
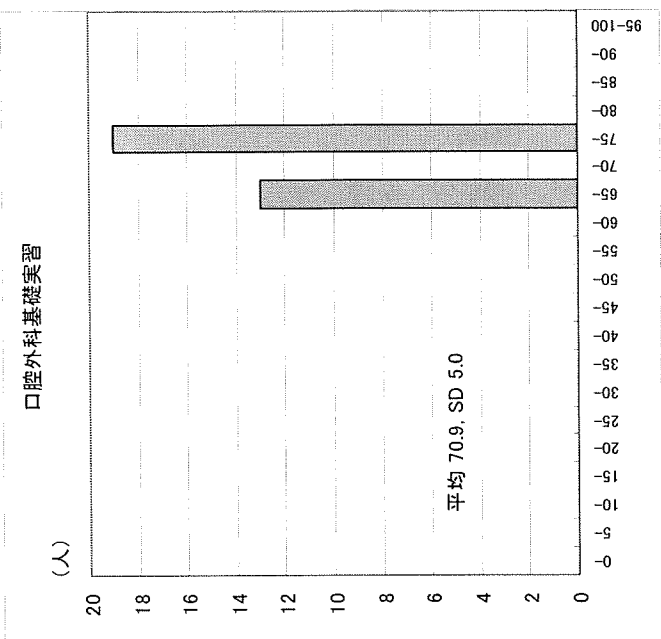
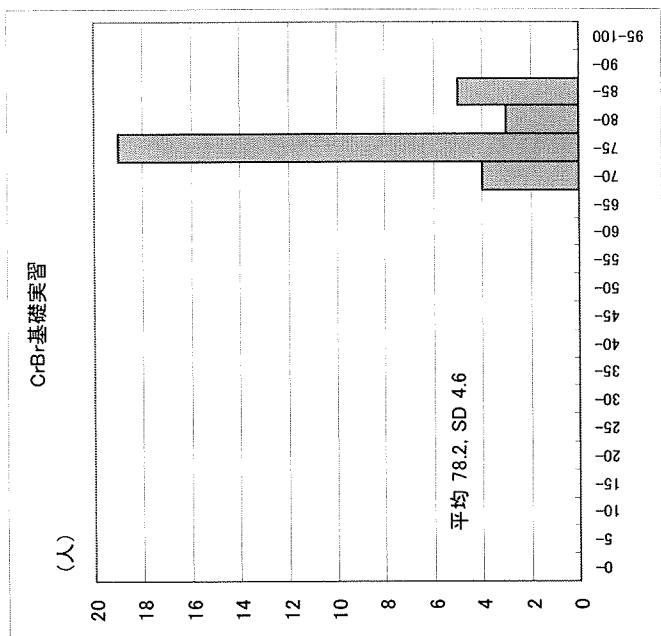
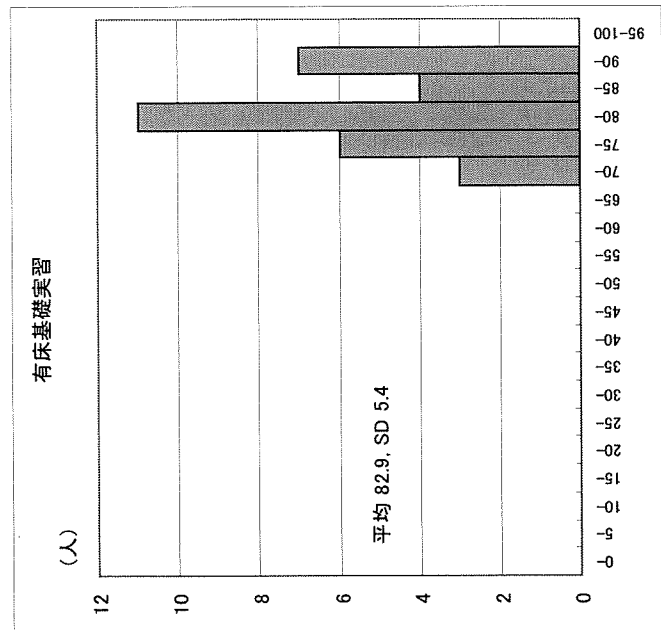


図9 C大学得点の分布 つづき

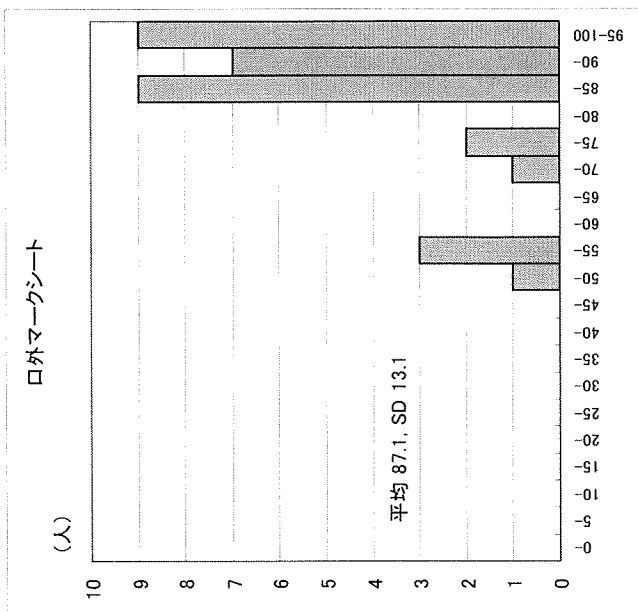
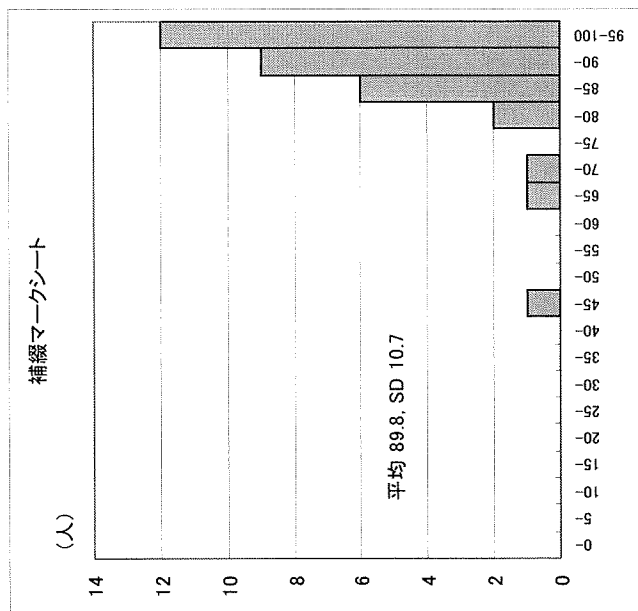
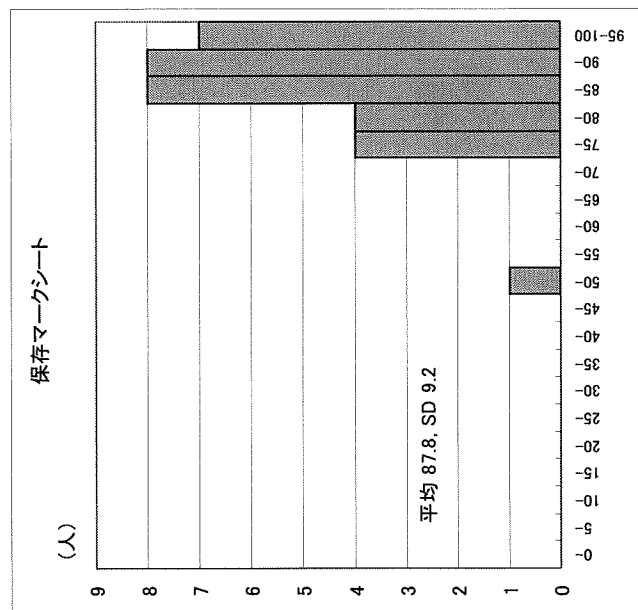


図9 C 大学得点の分布 つづき

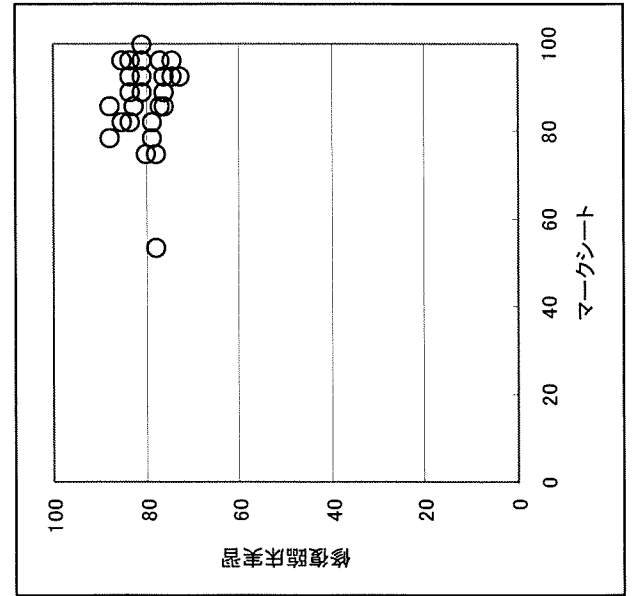
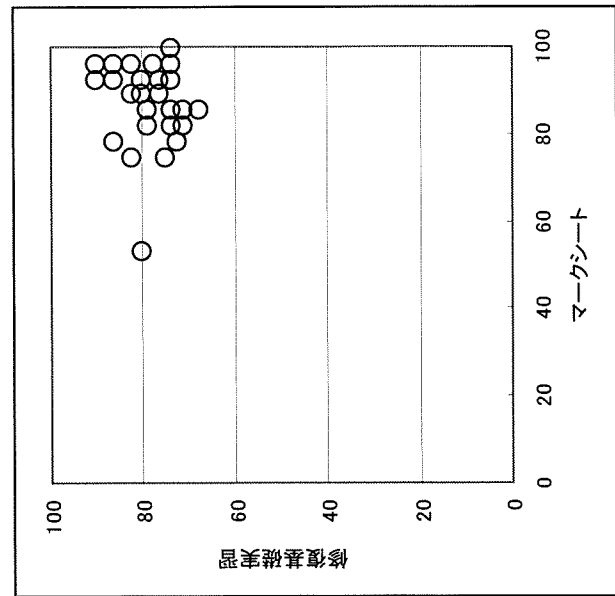
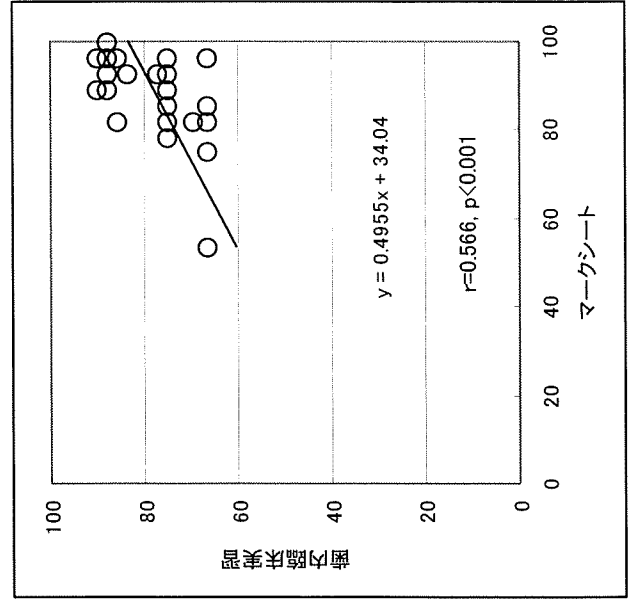
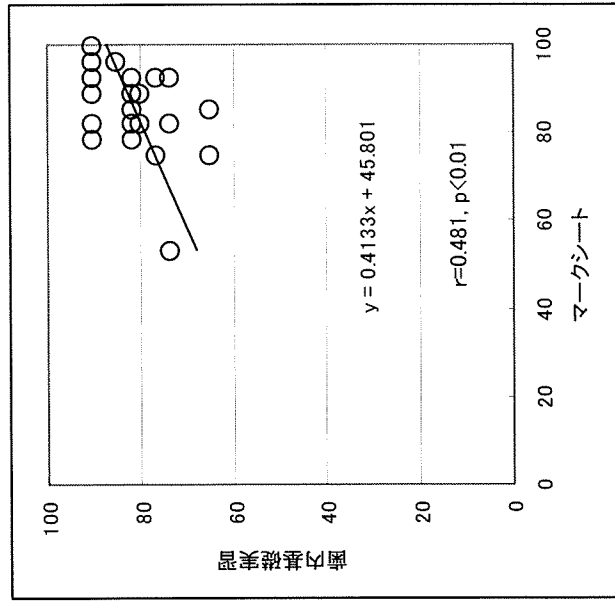
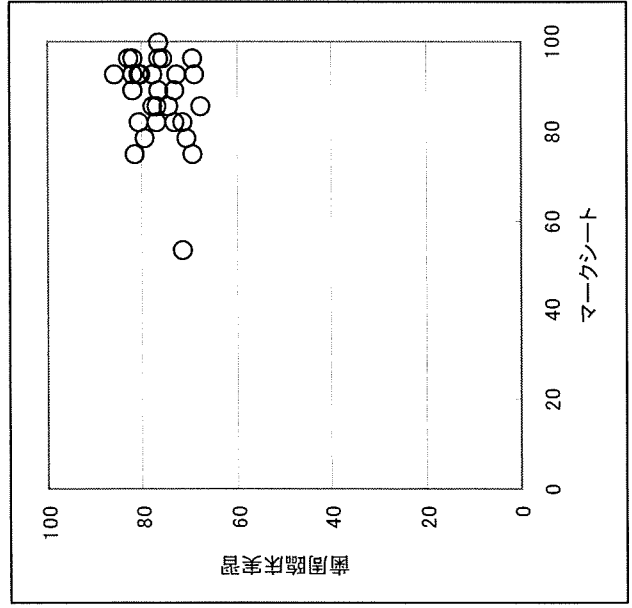
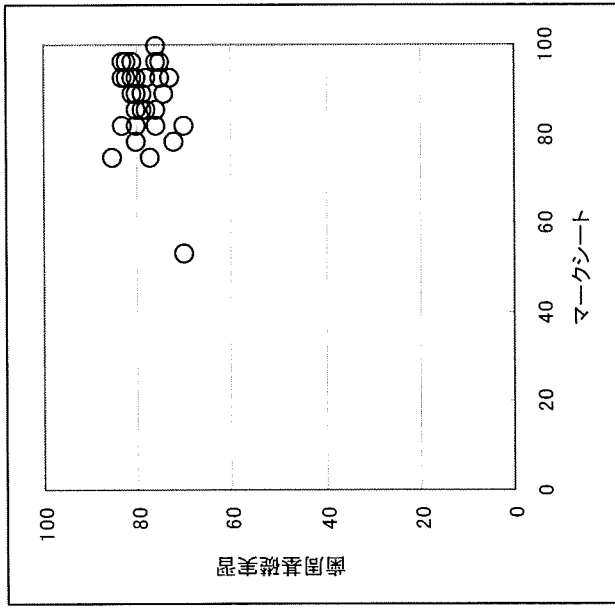


図 10 C 大学客観式多肢選択試験と実習成績との相関

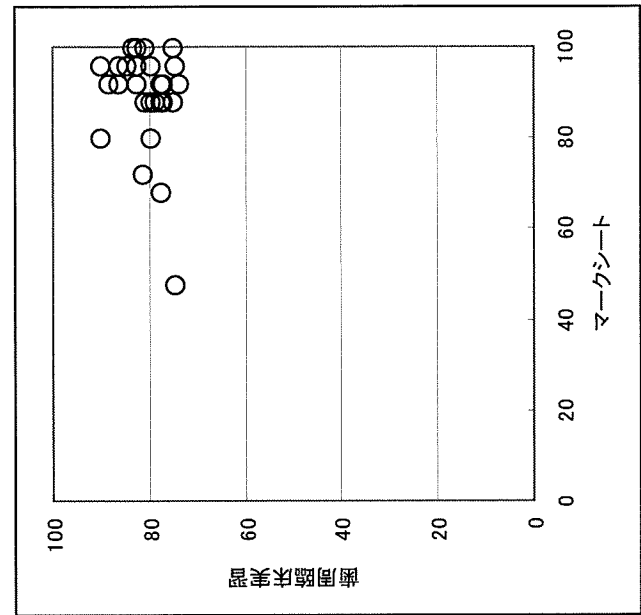
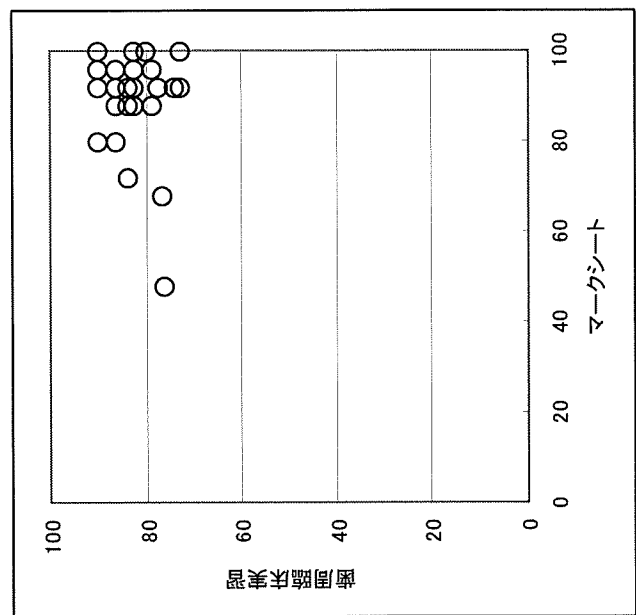
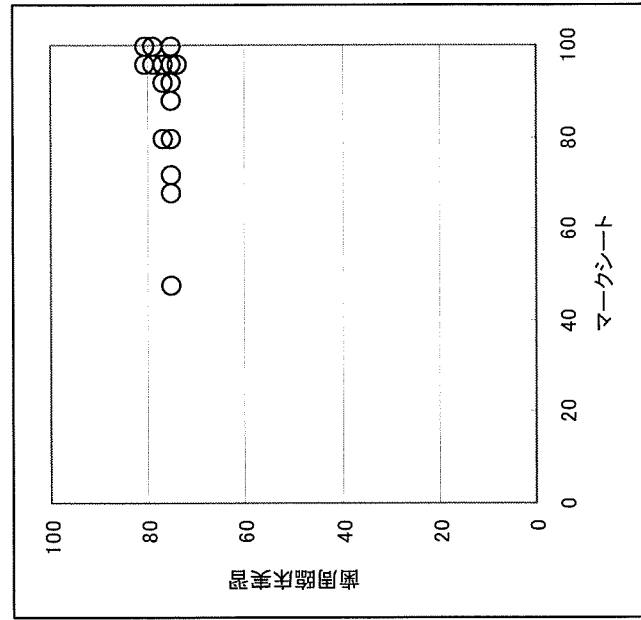
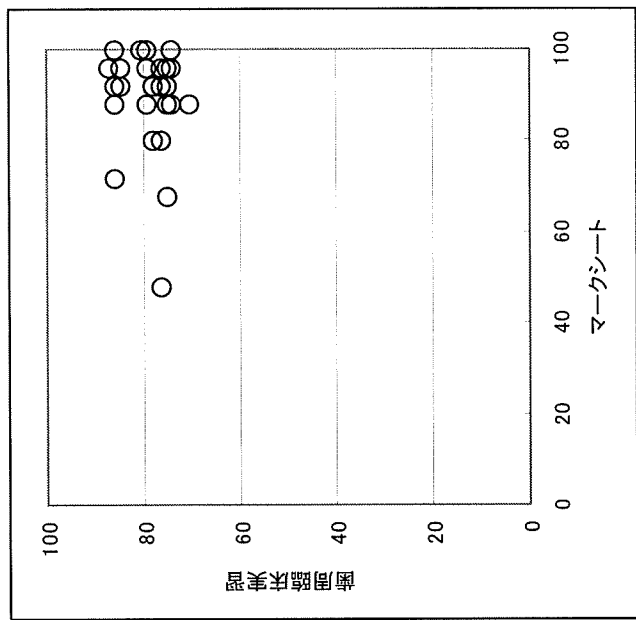
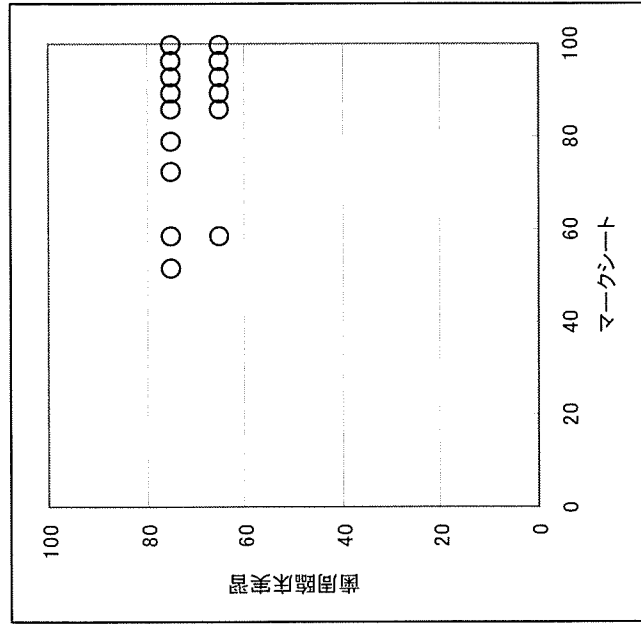
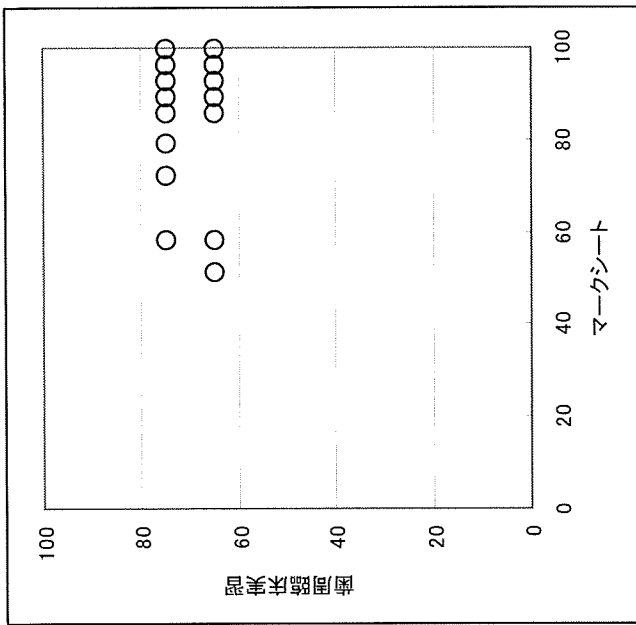


図 10 C 大学客観式多肢選択試験と実習成績との相関 つづき

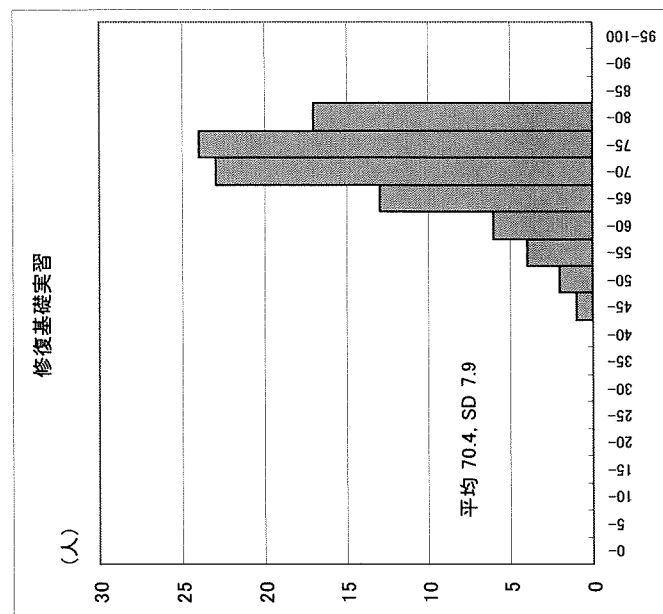
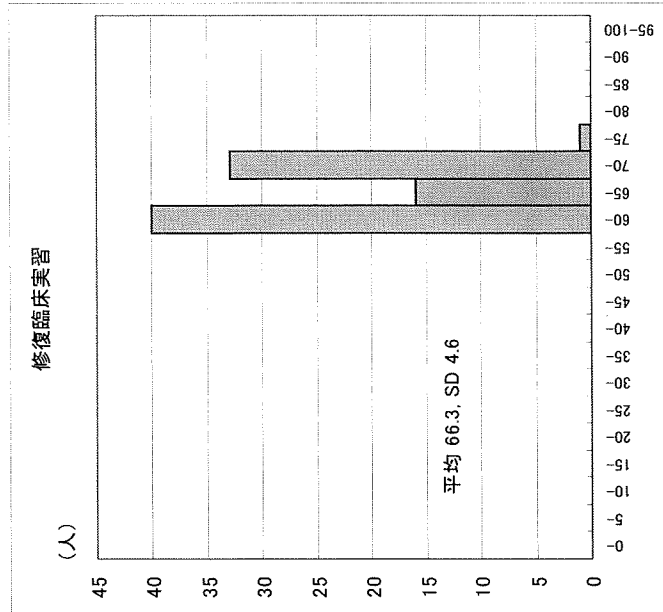
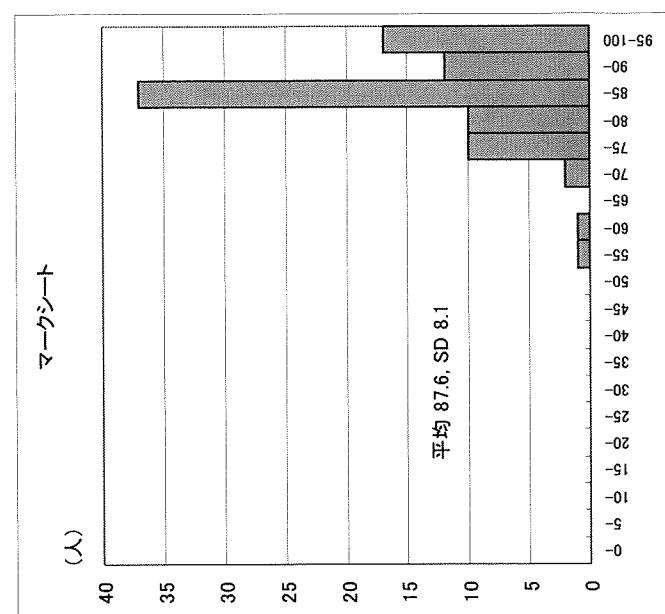
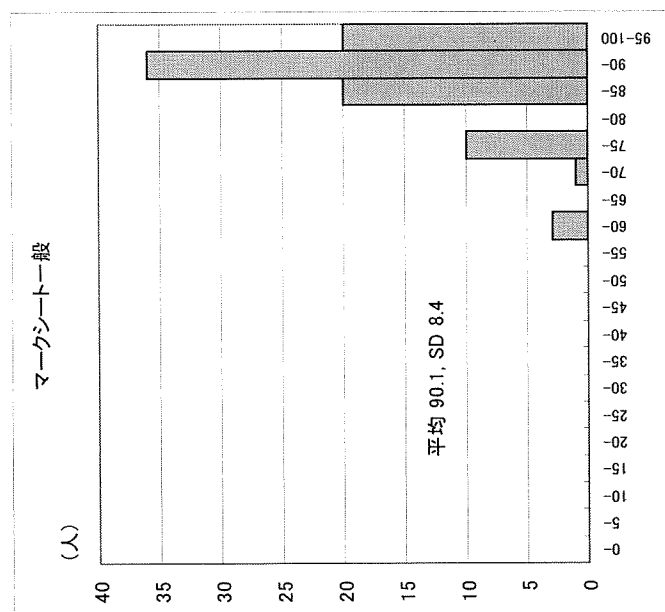
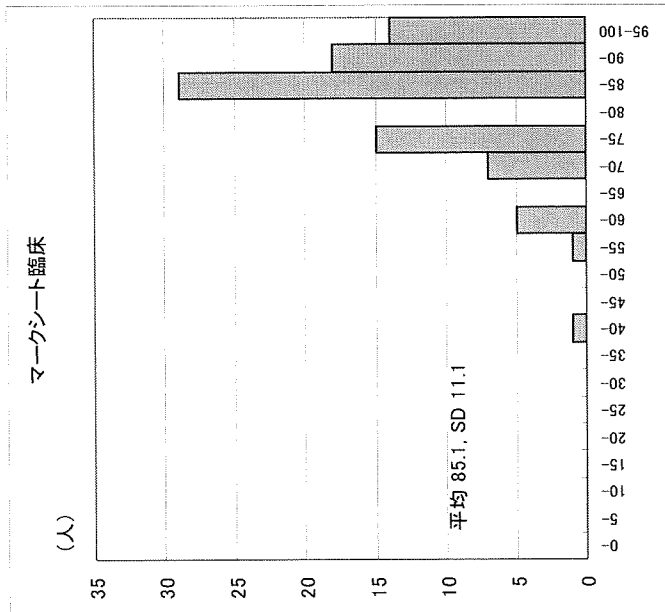


図 1 1 D 大学歯保存科得点の分布

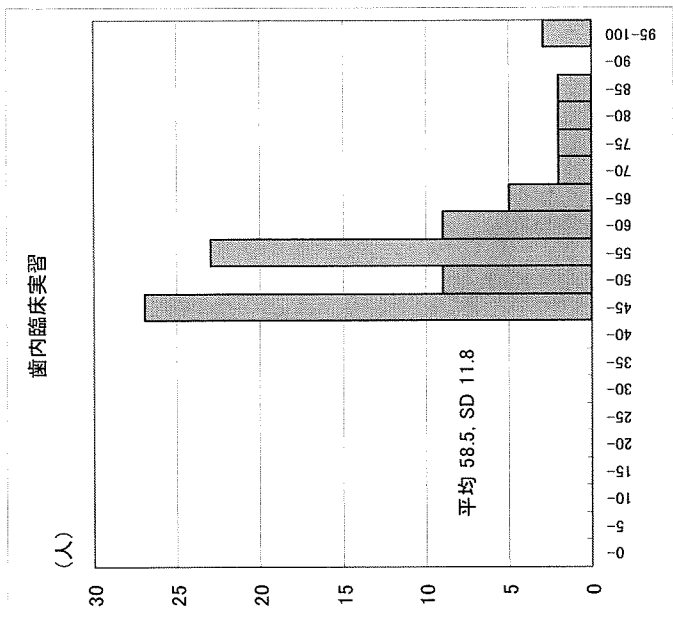
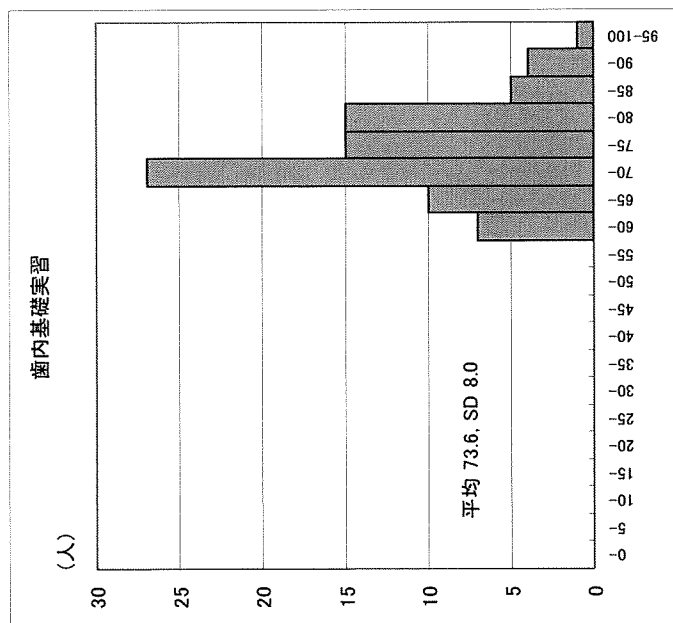
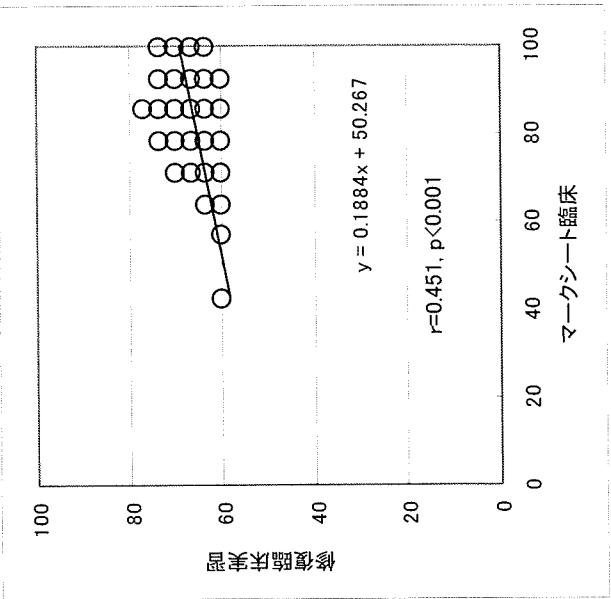
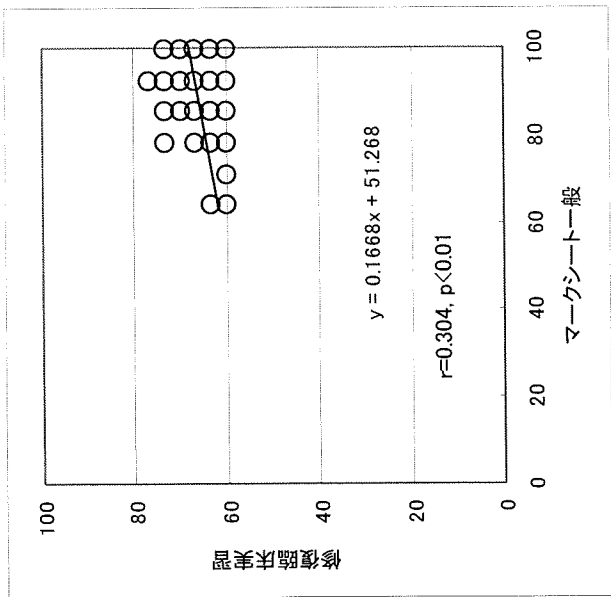
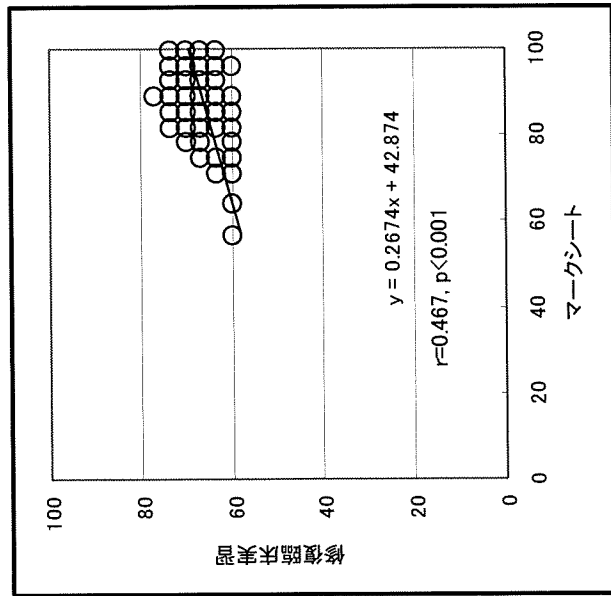
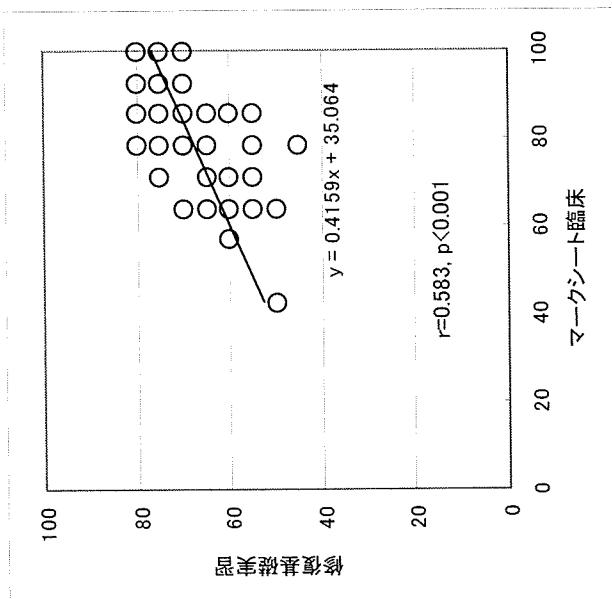
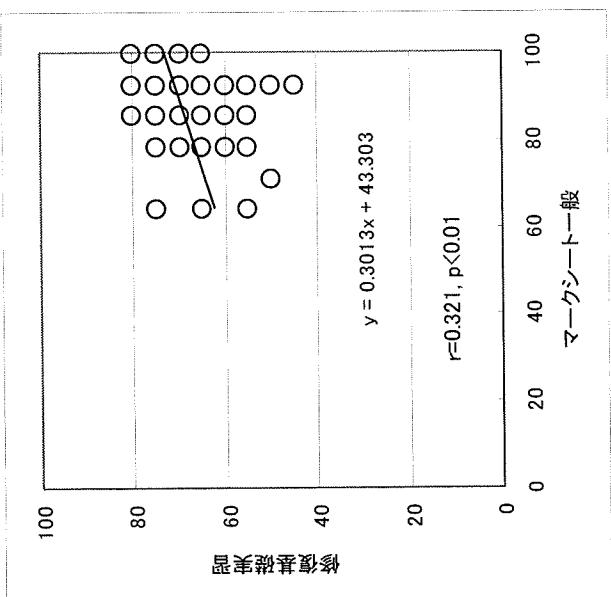
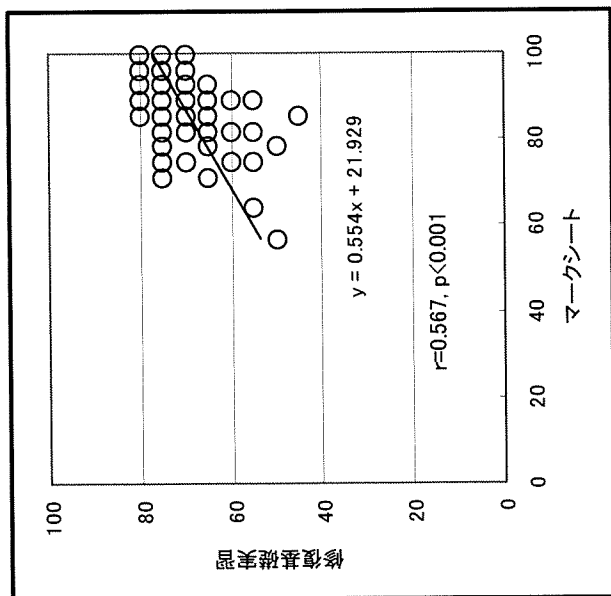


図 11 D 大学歯保存科得点の分布 つづき



(保存科)

図 1 2 D 大学客観式多肢選択試験と実習成績との相関

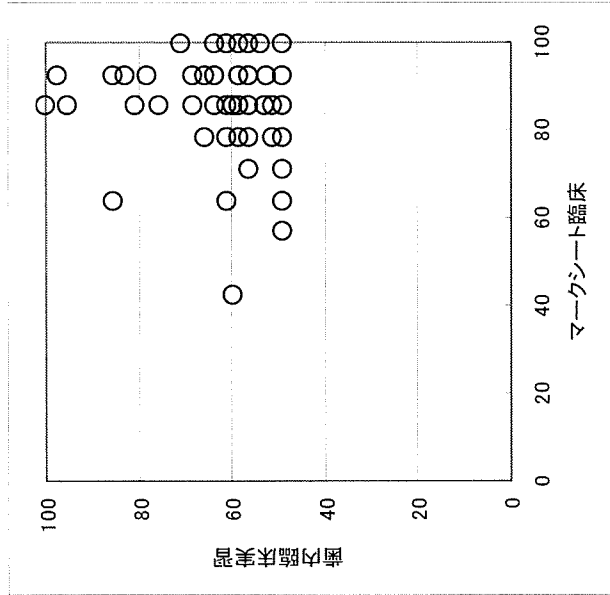
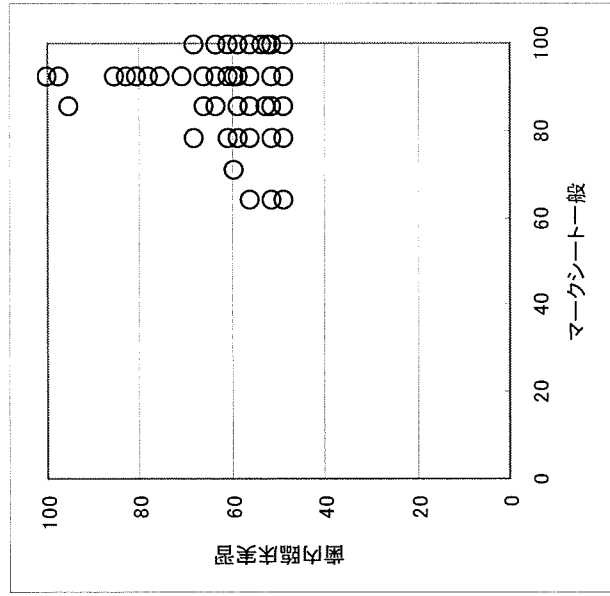
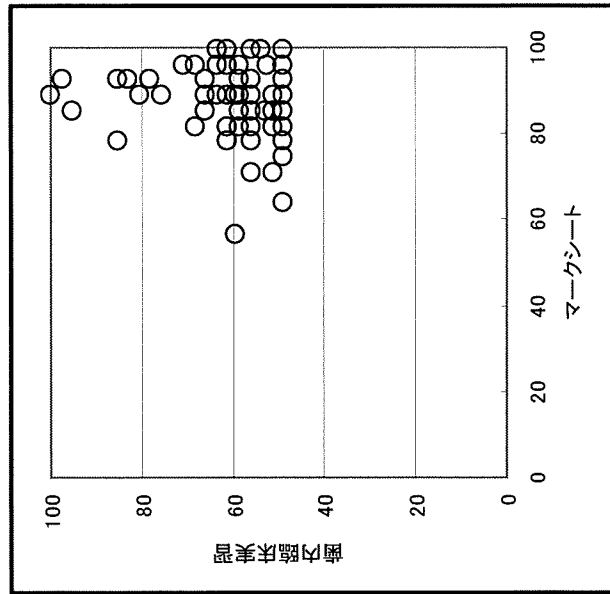
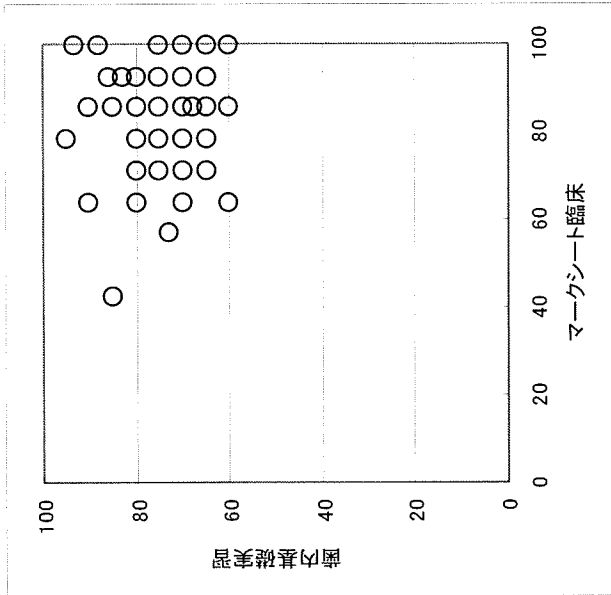
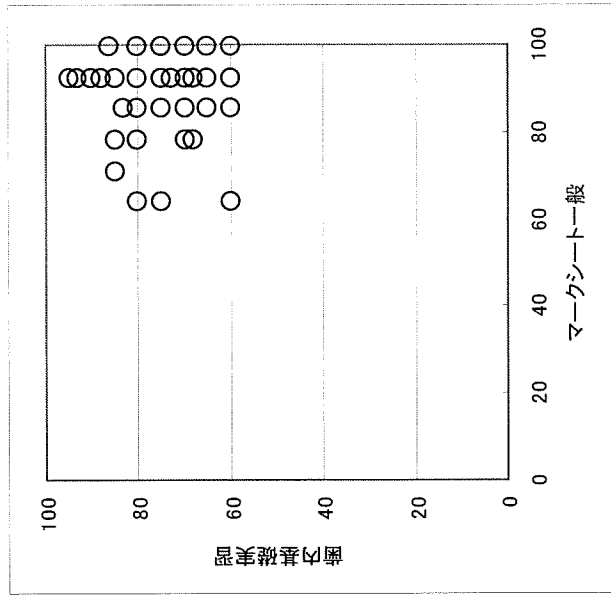
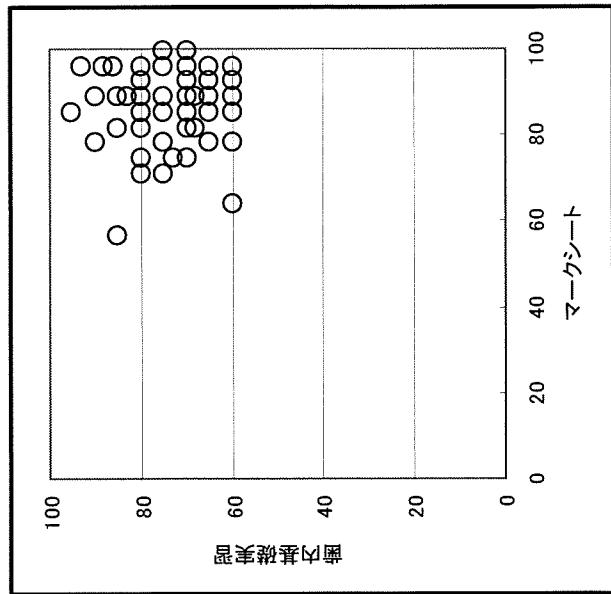


図 1 2 D 大学客観式多肢選択試験と実習成績との相関 (保存科) つづき

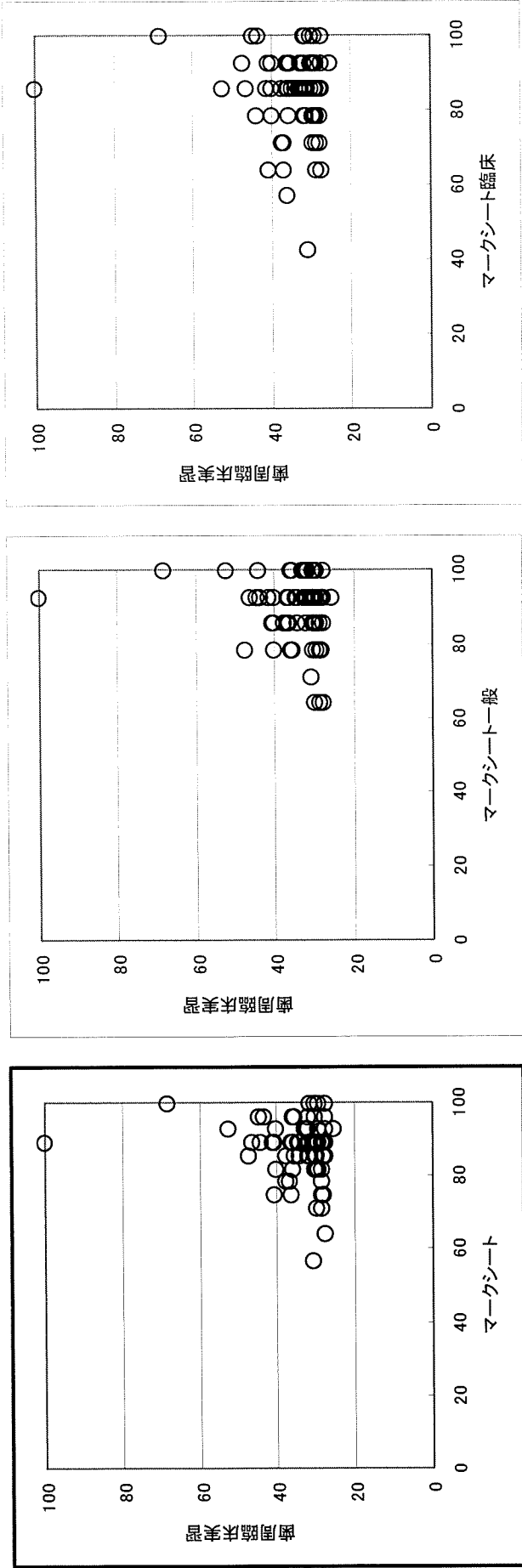


図 1 2 D 大学客観式多肢選択試験と実習成績との相関 (保存科) つづき

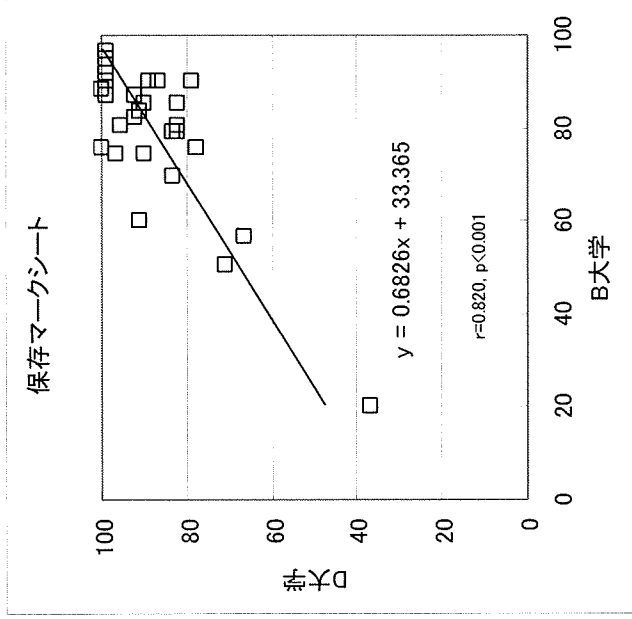
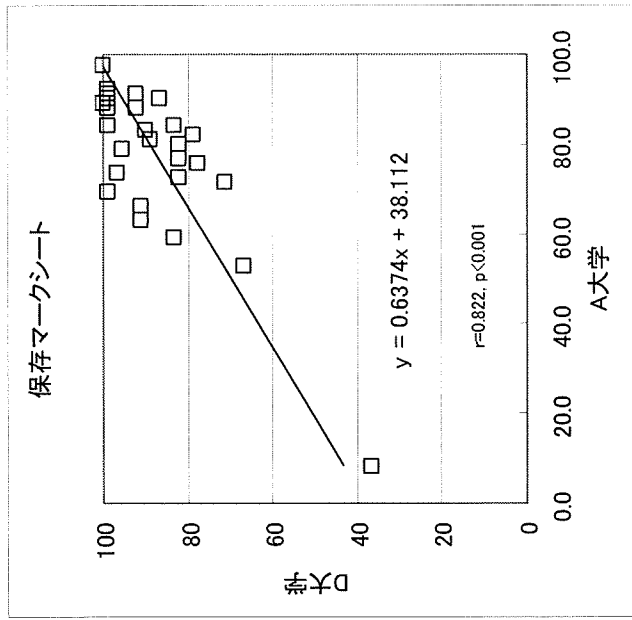
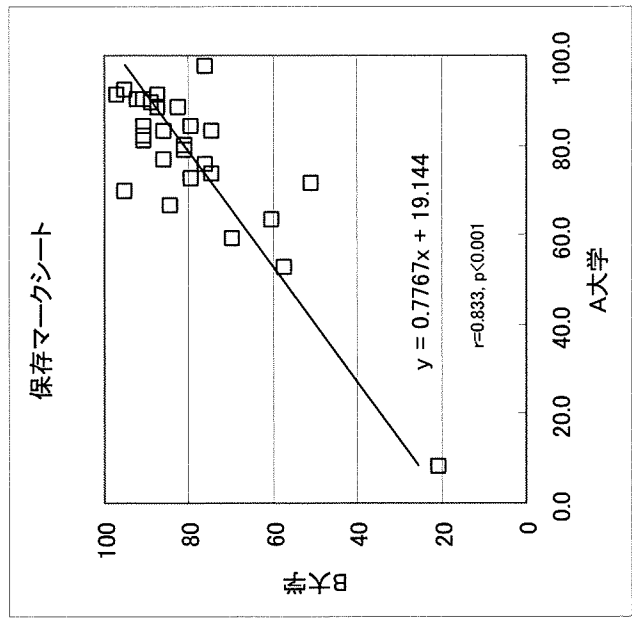
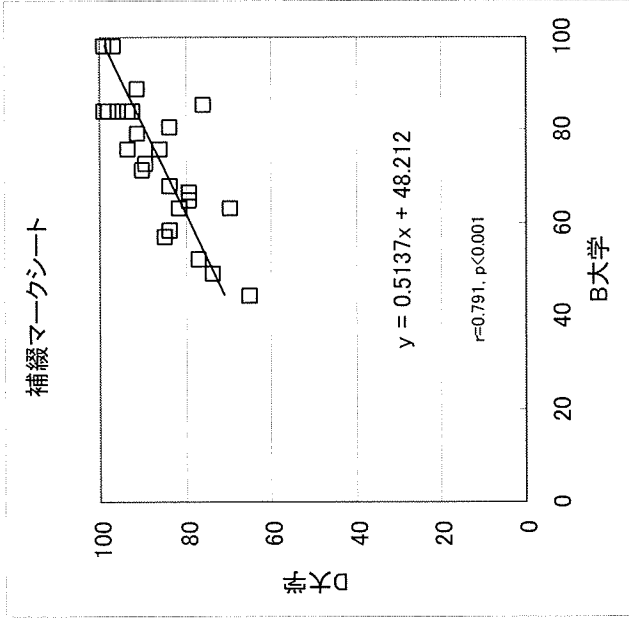
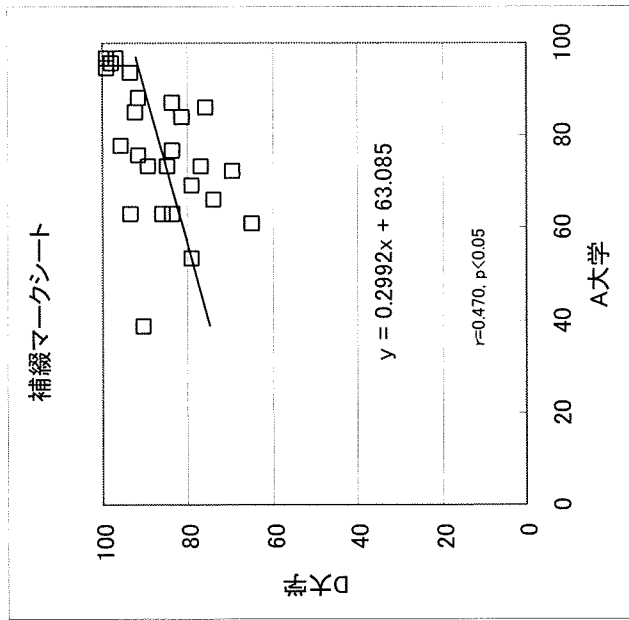
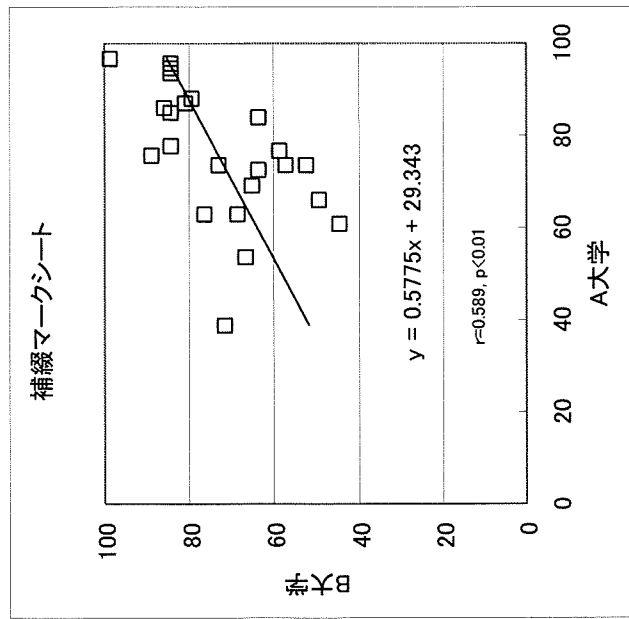


図 1.3 A、B、D 大学客観式多肢選択試験の正答率の相関

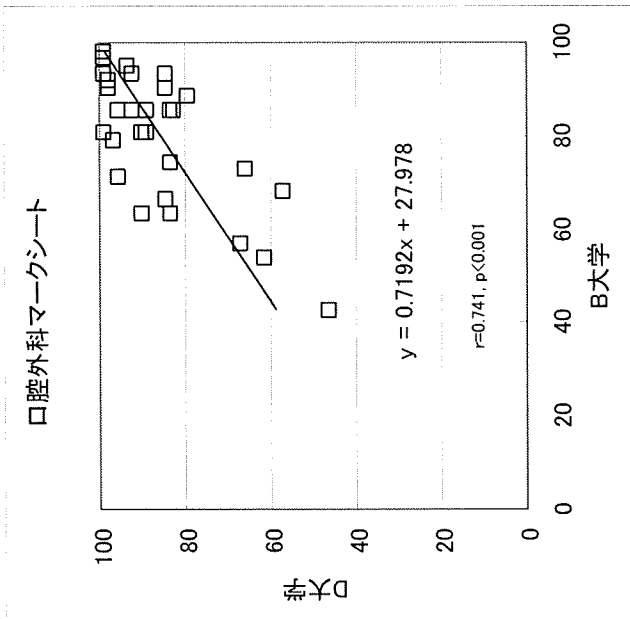
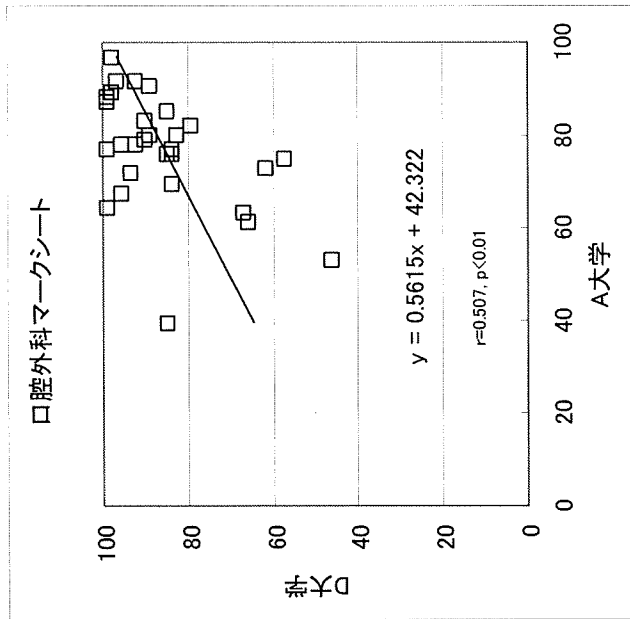
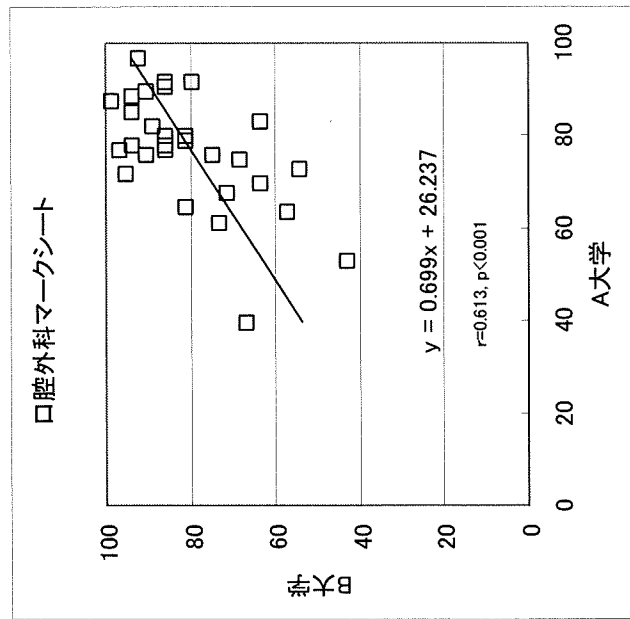


図13 A、B、D大学客観式多肢選択試験の正答率の相関 つづき

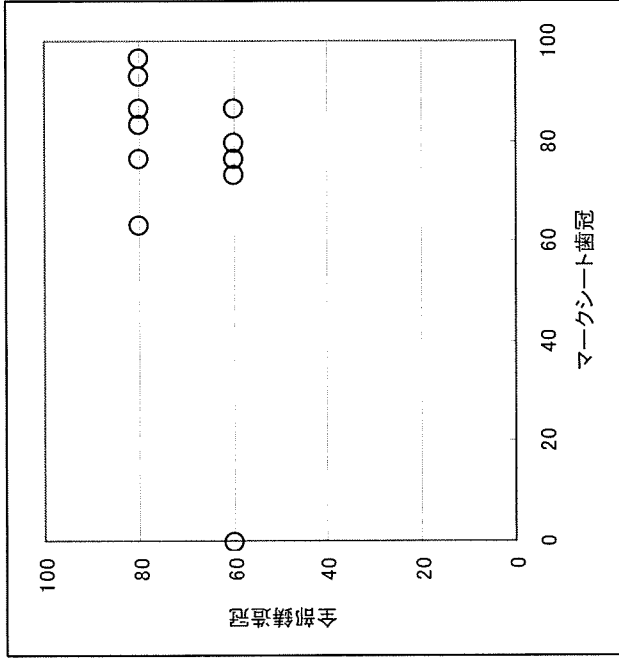
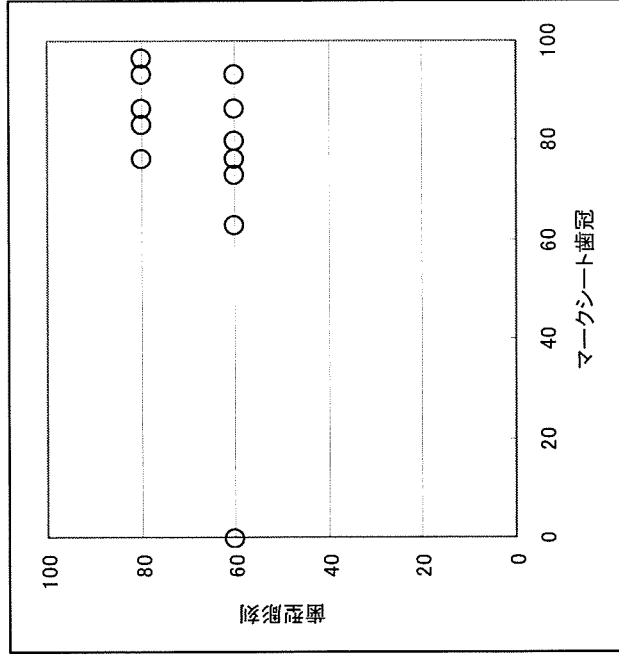
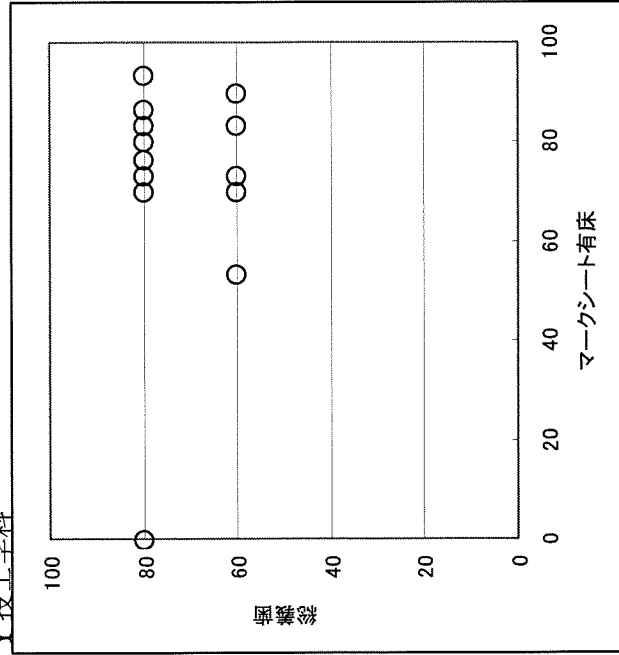
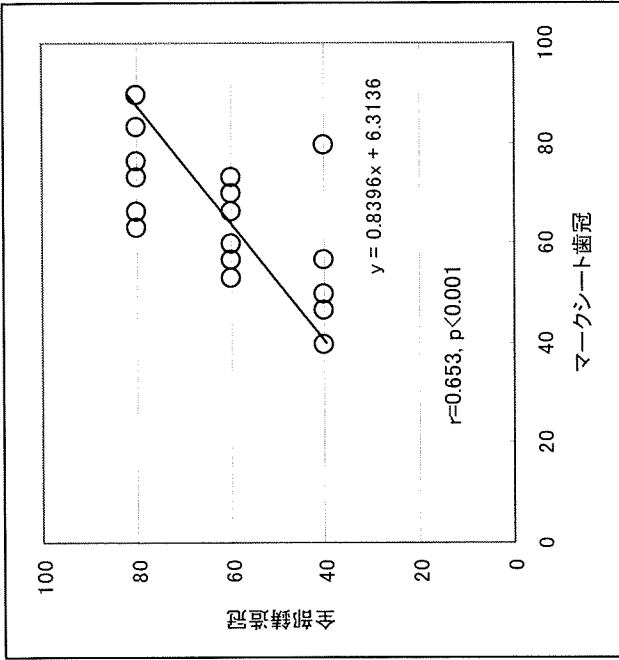
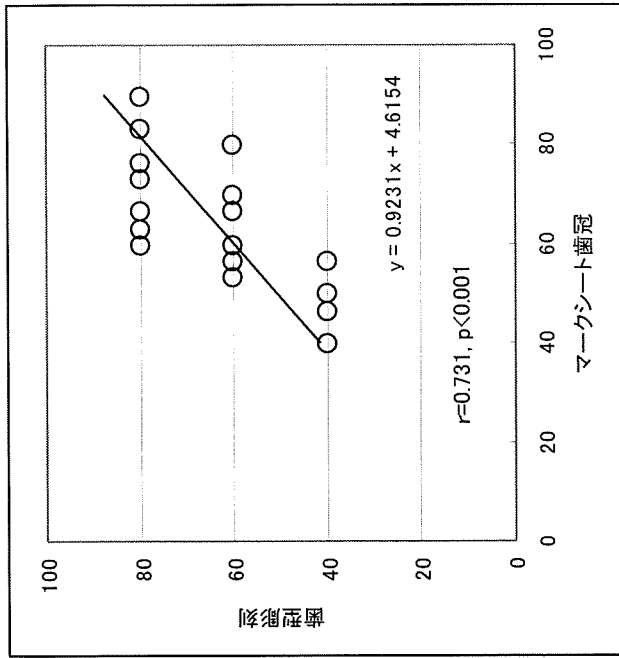
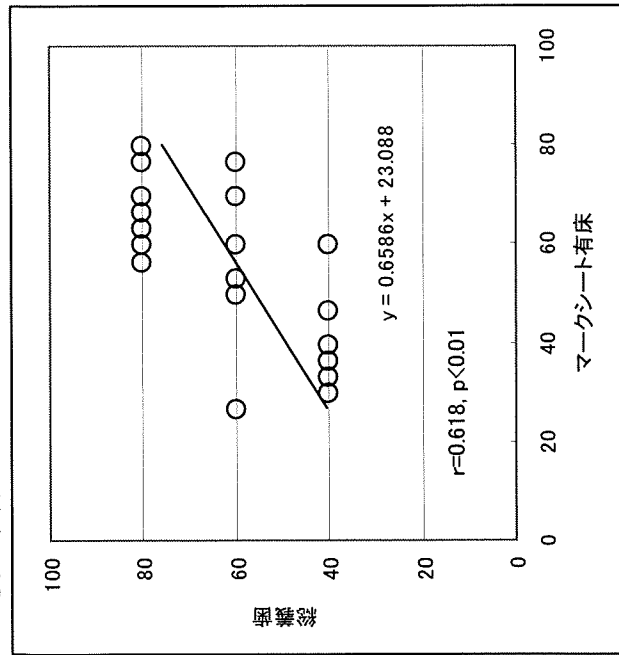
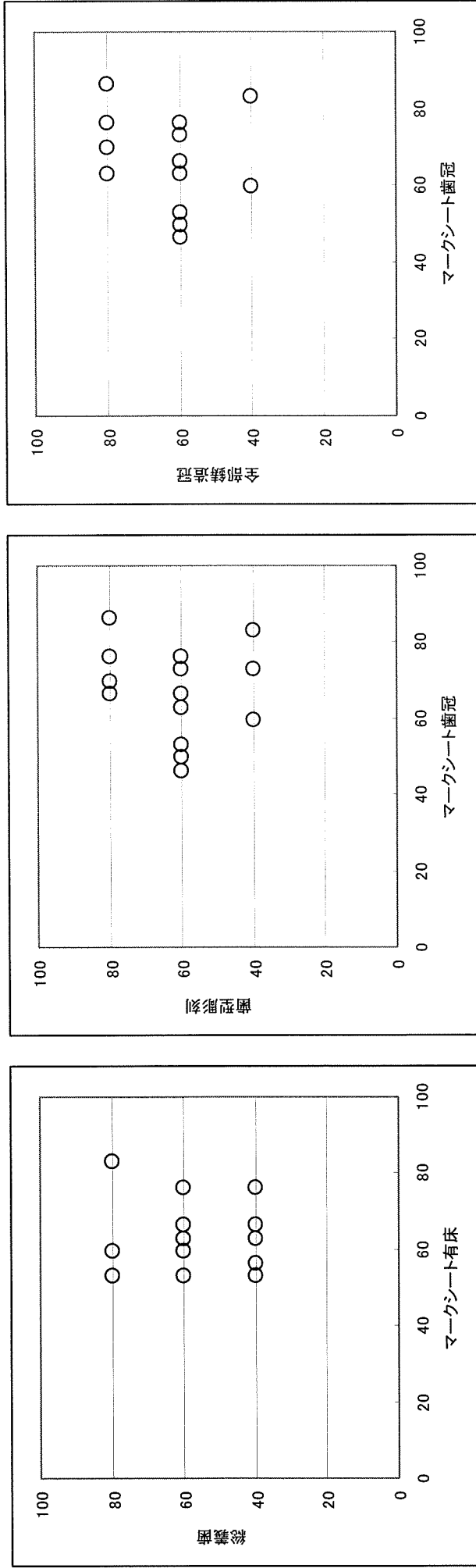


図 1 4 歯科技工学科客観式多肢選択試験と実習成績との相関

Z 技工学科



資料1 識別係数の高かった問題、低かった問題を以下に示す。

補綴系 識別係数の高い問題

- 1 4 ワイヤークラスプの利点はどれか。
- a 任意の形態に設計できる。
 - b 少ないアンダーカットを利用できる。
 - c 使用中の変化が少ない。
 - d 異物感が少ない。
 - e 鉤歯の負担が少ない。
- 1 3 リンガルバーの設計で正しいのはどれか。
- a 上縁は歯肉から 2mm 以内にする。
 - b 上縁はコルベン状に形成する。
 - c 下縁は自然移行型にする。
 - d 下縁をリリースする。
 - e 下部にケネディーバーを併設する。

11 24歳の女性。咀嚼時の右側咬筋部の疼痛を主訴として来院した。スプリント装着時の口腔内写真(別冊 No.7A)とスプリントの写真(別冊 No.7B)とを別に示す。

犬歯誘導にするため削合すべき部位はどれか。

- a 左側犬歯部の青マーク
- b 右側犬歯部の青マーク
- c 右側大臼歯部の赤マーク
- d 左側大臼歯部の青マーク
- e 前歯部の赤マーク

補綴系 識別係数の低い問題

1 7 59歳の女性。1年前に装着した義歯の人工歯が脱離し来院した。他の部位には異常は認められない。来院時の義歯と人工歯との写真(別冊 No.9)を別に示す。

考えられる原因はどれか。2つ選べ。

- a 床用レジン転入タイミングの遅れ
- b 人工歯基底面の流ろう不足
- c 床用レジン填入時の加圧不足
- d 硬質レジン歯の使用
- e 強すぎる咬合接触

9 60歳の男性。口腔内診査を希望して来院した。臼歯部歯肉に着色を認めた。初診時の口腔内写真(別冊 No.5)を別に示す。

着色の原因で考えられるのはどれか。

- a 冠の適合不良による慢性歯肉炎
- b 歯根部に生じた二次齲蝕
- c メタルコア金属の溶出
- d レジンセメントの溶出
- e 根管貼薬剤の溶出

22 58歳の男性。開口時の顎関節部疼痛を主訴として来院した。2年前から開閉口時に顎関節部の疼痛があったという。初診時における咬合時の写真(別冊 No.14A)、疼痛が生じる顎位の写真(別冊 No.14B)および開閉口しても疼痛が生じない顎位の写真(別冊 No.14C)を別に示す。

最初に行うべき処置として正しいのはどれか。

- a 義歯の再製作
- b スプリントの装着
- c 前歯の補綴処置
- d 臼歯部の咬合再構成
- e 関節腔の洗浄

保存系 識別係数の高い問題

5 40歳の男性。下顎左側小白歯部の違和感を主訴として来院した。2か月前から、45間に食片の圧入が起こるようになったという。5は電気診に正常に反応する。初診時の口腔内写真(別冊 No.3A)とエックス線写真(別冊 No.3B)とを別に示す。

5の処置で誤っているのはどれか。2つ選べ。

- a グラスアイオノマーセメント修復
- b コンポジットレジン修復
- c レジンジャケットクラウン修復
- d メタルインレー修復
- e セラミックインレー修復